

日南町総合防災訓練に日野川河川事務所も参加しました！

令和元年10月7日

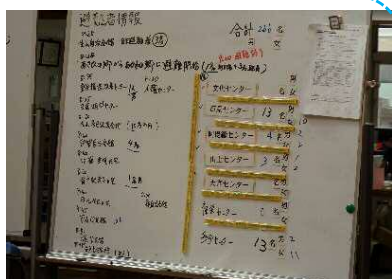
- ▶ 令和元年9月29日(日)、日南町役場において、「平成30年7月に発生した西日本豪雨災害時の各機関の初動対応検証」をテーマに、関係機関が共同で訓練を行うことにより相互協力の円滑化を図ることを目的に『令和元年度日南町総合防災訓練』が行われました。
- ▶ 前線の影響により前日からの累加雨量が400mmに迫る大雨により、日野川の水位が避難判断水位を超え、土砂災害警戒情報が日南町に発表されたことを受け、日南町全域に避難勧告を発令したという想定で、避難所の開設・住民の安否確認・避難訓練・水防活動・炊き出し等の訓練が実施されました。
- ▶ 日野川河川事務所は、日南町役場からの要請を受けて、連絡員を日南町役場へ派遣するとともに、大宮地域振興センターへKu-SAT II ※2を派遣し、現地の映像を日南町災害対策本部へ伝送を行うなど、自治体への支援を想定した訓練を行いました。訓練終了後、町長から、Ku-SAT II による映像伝送が災害対策に有効であるとのコメントをいただきました。



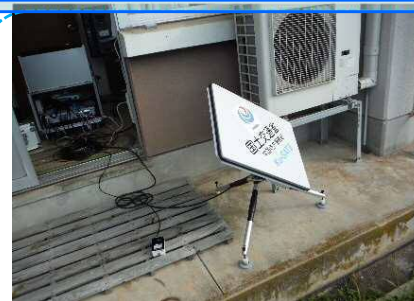
町長あいさつ



日南町災害対策本部



避難者の状況



Ku-SAT II 現地送信装置(日南町大宮地域振興センター)



Ku-SAT II 受信装置(日南町役場)



災害対策本部への映像投影



国交省の連絡員、県のリエゾン(※1)



訓練終了後の反省会



※1リエゾン	Liaison(つなぐ)という意味のフランス語で、災害情報等の交換のために他機関から被災自治体に派遣される職員のこと。初動段階から緊密な情報交換が可能であり、迅速かつ円滑な災害応急対策及び災害支援の実施に資することができます。
※2Ku-SAT II	現地の映像を衛星回線を使って通信することができる持ち運び可能な装置です。そのため、災害時には、現地の映像を離れた場所のモニターへ送り、現場の様子をリアルタイムで共有することができます。